

地域産業支援委員会H28年度第4回例会議事録

2017.3.12 発行 地域産業支援委員会 委員長 末松正典

1. 日時 : 2017/3/4 (土) 10:00~12:15

2. 場所 : 九州本部 会議室

3. 出欠 (敬称略) : ■赤石、□味澤、□大里、□小出、■古賀、□末松、□田口、□西尾
 【□出席者、■欠席者】 □久富、□松永、□松原、■森川、□八百屋 ■山田、□吉田
 <11名> <4名> [オブザーバー出席: □長野副本部長]
 (欠席委員からは決議一任を頂いています)

4. 議題

- 1) H28年度第4四半期の活動報告:
- 2) 第3回例会時の検討課題議論: 九州本部リーフレットの改良案選定 他。
- 3) 次年度委員について
- 4) 次回の技術指導例紹介の発表者の選定
- 5) その他

5. 配布資料類

資料①-1: H28年度活動経過表 資料①-2: 技術士だより九州への投稿原稿「産総研オープンデー出展」
 資料①-3: 技術士だより九州への投稿依頼原稿 (中小機構)
 資料①-4: 技術士だより九州への投稿依頼原稿 (二月会)
 資料①-5: 委員会開催時の旅費支給のルールの変更について
 資料②-1: 当会への問い合わせや相談対応(1)ひまわり経営サポート前井氏
 資料②-2: 当会への問い合わせや相談対応(2)PMT社 資料②-3: 相談対応のQRコード新設定
 資料②-4: PRリーフレット作成に関して 資料②-5: PRリーフレットサンプル案1
 資料②-6: PRリーフレットサンプル案2 資料②-7: PRリーフレットサンプル案3
 資料②-8: 技術相談者HP改訂
 資料③-1: 九州知財交流会参加報告書 (第6回) 資料③-2: 九州知財交流会参加報告書 (第7回)
 資料③-3: 九州知財交流会参加報告書 (第8回) 資料③-4: 九州知財交流会参加報告書 (第9回)
 資料③-5: 第1回技術士知財勉強会報告 資料③-6: 九州知財交流会参加報告書 (第10回)

6. 議題に対する結果 (決定事項など):

6. 1 各グループのH28年度4四半期の活動報告:

1) 第1グループ 【文責: 末松】

- (1) 資料①-1: 5グループ全体の活動のまとめについては、特に異論なし。
- (2) 資料①-2: 技術士だより九州への投稿原稿「産総研オープンデー出展」への来場者からの技術士試験受験に関する情報の要望については、“指導”の言葉の使い方には注意が必要ありとの指摘があった。受験に関する情報希望者への対応は末松委員が行うこととした。
- (3) 資料①-4: 寄稿内容について特に異論なし。なお2017年度の二月会日程は以下になっている。
 135回 7/10 (月) 『第4次産業革命』、 136回 9/11 (月) 『世界最先端の健康立国』、
 137回 11/13日 (月) 『観光立国』、 138回 1/15 (月) 『攻めの農林水産業』、
 139回 3/12 (月) 『スポーツの成長産業化』
- (4) 資料①-5:
 委員会開催時の旅費支給のルールがH29/4/1から変更される。各委員が使用するルートを調査した。

2) 第2グループ【文責：味澤、吉田】

- (1)「資料②-1」「資料②-2」について吉田委員報告。
- (2)「資料②-3」について長野副本部長報告。
- (3)「資料②-4～7」及びA3版×リーフレット3案を提示し意見徴集（「案」は味澤・山田作成）
 - ①「第3案」で決定。只、「技術の相談」での「>>地図」は消去する。
 - ②用紙のサンプルは事務局唐田さんに取り寄せてもらっているので、その中から選び試行品を作成する。
 - ③配布先は、当面第3回会議で赤石・山田委員が作成した配布先とするが、他に配布希望先があれば個々に対応可能である。
 - ④以後、修正見直し等あればその都度対応して行きたい。

【以下、後記】：具体的な配布時期は新年度に入ってから4～5月に成ると思う。
- (4)支援アドバイザーは新規登録者3名（久富、姫野、納富）を追加し、次回の改訂時にHP掲載する。

3) 第3グループ【文責：味澤、西尾、末松】

- (1)H28.11月からH29.2月にかけて行われた第6回～10回九州知財交流会参加のトピックス：
 - ★場所は福岡合同庁舎本館（九産交流プラザ）。第8回のみリファレンス駅東ビルで開催。
 - ★交流会後に懇親会が行われる（有料）。
 - ★福岡県知的所有権センター・福岡県知財総合窓口（<http://www.joho-fukuoka.or.jp/intellectual/>）吉塚にある福岡県中小企業振興センター内）では、次の3種類の窓口が置かれ多くの無料のサービスを行っており利用価値は高いと思われる。
 - ・知財トータルサポーター：九経局からの委嘱5名（金谷、竹内、佐々木、花田、熊本）
主な相談内容は「出願準備の支援」「知財管理の支援」
 - ・知財アドバイザー：九経局からの委嘱2名（堤、野上）。主な相談内容は「訪問支援」
 - ・特許流通コーディネータ：福岡県からの委嘱2名（元村、安部）。主な相談内容は「知財の活用支援」
 - ★交流会での資料の内、一部は事務局に保存してあるので閲覧コピー可能である。その他「議事録（メモ）」を一読し、資料が欲しい方は参加者に申し出ればコピー可能である。
 - ★時間的制約から個々の「議事録（メモ）」の詳細は省略し大まかな状況報告に終わったが、各委員に於かれては全て一読される事を推奨したい（味澤後記）。

4) 第4グループ【文責：味澤】

- (1)「産総研九州・沖縄産業技術オープンデー」に出展（H28.12.7）：資料①-2参照。
 - ★技術相談対応者5名（味澤、末松、服部、松永、吉田）
 - ★「資料①-2」の内、沖縄総合事務局からの相談に対し、沖縄県技術士会（日本技術士会会員と非会員から構成：<http://www.pe-okinawa.jp/>）の連絡先を教えた。
今後、沖縄県技術士会の管轄を何処にするのか、或は日本技術士会としての支援体制をどうするのか明確にする必要があるのではないかと。

5) 第5グループ【文責：末松】

- (1)統括本部の機械部会主催のWeb中継受講を継続。
 - ★12/9（金）参加者2名。
演題「半導体製造装置の耐震性（従来の対策と新しい課題）」、講演者：（株）ニコン高橋正人氏
ただし、Web中継が不通の不具合のため中継は中止。
原因は、事務室の印刷機更新時に事務室と会議室間の回線接続忘れの様様。
 - ★2/10（金）参加者3名。演題「生体流体力学～循環器系シミュレーションと可視化計測《工学とバイオの融合～》」講演者：大島まり氏（東京大学大学院情報学環／生産技術研究所 教授・日本機械学会 筆頭副会長）

(2)技術業務事例紹介：末松委員

★北九州イノベーションギャラリー(K I G S) [北九州産業技術保存継承センター]からの依頼業務対応を、次の構成により紹介。

①2005年度：北九州産業技術博物館事業

②2006年度：北九州産業技術博物館事業第3弾（北九州産業技術史編纂）

③2010年度：北九州技術革新史（個別編） ④2012年度：イノベータ列伝Ⅱ

⑤2013年度：北九州市産業技術史調査研究（北九州における溶接技術の歴史と発展）

⑥2015年度：北九州(産業)技術革新史更新

6. 2 第3回例会時の検討課題議論：九州本部リーフレットの改良案選定。

★味澤委員から紹介された3つの案のうちサンプル3（表紙に“技術相談のご案内”と明示したサンプル）に決定。詳細内容は6. 1節の2）第2グループからの報告(3)を参照。

- ・九州本部の主要事項・会員数を約1500名としているが、これは登録部門毎の合計を集計した値で、複数部門の登録者がダブルカウントされている。現状の数値とするか、実会員数にするか（この場合は約1150名となる）、九州本部長と打ち合わせて決める（末松委員担当）。

6. 3 次年度委員について

★変動：森川委員が委員を辞退。新委員として、オブザーバーとして参加いただいている長野副本部長に就任いただく。他に1名の枠として、電気電子部門、長崎県支部所属の方に打診する。

★役割：古賀副委員長は事情により副委員長を辞退。次期副委員長として松永委員（森川委員が担当されていた二月会の案内取り纏めも担当）に就任いただく予定。

6. 4 次回の技術指導例紹介の発表者の選定

技術指導事例紹介は松原委員が行うこととした。

6. 5 その他：

- ・次回例会開催日時：2017年6月3日（土）14：00－17：00（九州本部会議室にて）

以上